

## 北海道支部役員変更のお知らせ

### 北海道支部新役員名

理事・支部長	須田 建 (札幌管区气象台)	理事	石田 完 (北大低温研)
常任理事	孫野 長治 (北大理学部)	幹事長	中岡 裕之 (札幌管区气象台)
常任理事	内田 英治 (札幌管区气象台)	幹事	播磨屋敏生 (北大理学部)
常任理事	丸山 栄三 (札幌管区气象台)	幹事	遠藤 辰雄 (北大理学部)
理事	井上 力太 (北大工学部)	幹事	村松 照男 (札幌管区气象台)
理事	大野 義輝 (函館海洋气象台)		

### 【新書紹介】

F. W. Cole

Introduction to Meteorology E. W. Cole

John Wiley & Sons., Inc. (1970) 4,050円

カリフォルニア州 Los Altos Hills の Foothill College の気象学教授 Dr. Cole による本文 350 ページの気象学入門書。著者の名はわが国ではあまり知られていないが、人文科学や社会科学系の学生に、12年間以上気象学入門を講義してきた経歴の持主である。本書は大学の教養学部、航空学科、他の理工系分野の学生やパイロットのための一般気象学のテキストとして書かれたとその序文の中で述べられている。その内容は

Part I. Introduction to the atmosphere (1. Composition and vertical extent of the atmosphere, 2. Atmospheric temperature, 3. Atmospheric pressure, 4. Atmospheric humidity, 5. The measurement of wind), Part II. Physical processes (6. Radiation process and heat transfer, 7. Condensation and precipitation processes, 8. Adiabatic processes and stability), Part III. Atmospheric motion and circulation (9. Horizontal motion and fluid flow, 10. General circulation of the atmosphere, 11. Second-order and third-order circulations), Part IV. Weather disturbances and change (12. Extratropical cyclones and waves in the westerlies, 13. Tropical weather disturbances), Part V. Applied meteorology (14. Selected weather applications) であ

る。

著者は自分の教育体験に基づいて大気中の現象の物理過程の理解に重点を置いて執筆したと述べている。非理工科系の学生にとって難解な気温・熱・熱輸送・気圧・力・運動・熱力学的過程のような重要な概念をよく理解させること、さらに運動量輸送・質量保存・エネルギー保存・地球の自転の影響を平易に説明することを主眼としている。そのため数学的表現は必要最少限に止め、日常的なやさしい比喻を用いて、収束・発散・傾圧性などの説明を試みている。その現れの1つとして、説明図や写真を豊富(合計 230 葉)に取り入れて読者の理解を助けている。

しかし、わが国にはすでにこの種の書物は存在している。たとえば「気象の教室」(斎藤鍊一著)があり、必ずしも英語で書かれている本書を通読することを推める気持はない。両書の内容を詳しく比較検討したわけではないが、その構成はかなり類似しているし、むしろ「気象の教室」の方が内容は豊富である。ただ本書の特徴は、前述のように、基本的な概念の説明にかなりの精力を費し、図を豊富に使って平易に記述してあることである。この点は地学教育の関係者に参考になる点があるように思われる。(関口理郎)

1973年7月